

びわこ地球市民の森で自然体験キャンプ(夏)

豊かな自然を活用し、今年も子どもや家族を対象に自然体験と環境教育を目的とした自主事業に取り組みました。



暗闇の中で「虫ムシハイキング」



森の間伐体験

「夏の子どもキャンプ」は、男女別縦割りのグループにアウトドアリーダーが子ども達と寝食を共にし、健康面への配慮、心身の安全対策に万全な体制で取り組みました。

グループでビンゴカードを持ち、みんなで生き物を探しながら旧森づくりセンターを目指す「虫ムシハイキング」や、道中でグループの木を定めてバナナトラップを仕掛け、夜に見に行く(男の子のグループにカブトムシ4匹かかっていた)など、自然を満喫しました。アウトドアクッキング、キャンプファイヤー、竹の水鉄砲作りとウォーターワールド(水遊び)など、新しいお友達と非日常の体験を楽しめたと思います。

日帰りの「森のようちえんファミリー」では森づくりサポーターの皆さん作製の、長い竹を使った流しそうめんや水遊びで楽しみ、また家族一緒に森の間伐を体験したことで、「子どもが最後まで木を切り倒す姿を見ることができました」「森づくりの仕組みが理解できました」と好評でした。

水鉄砲での水のかけあいでは、子ども達はもちろんのこと、保護者(大人)が子どもに返ったように思いっきり楽しんでおられたことが印象的でした。

今回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策にしっかり取り組み(検温等の健康チェック・手洗い・うがいの奨励・密になるテント泊を避ける・お椀と箸を使い分けた流しそうめんなど)、熱中症対策にも力を入れた成果もあり、事故なく無事終えることができました。世間の状況を見ながら、秋・冬も自然体験キャンプが実施できればと考えています。ご興味ご関心のあるサポーターの皆さん、ぜひお手伝いをお願いします。



ビンゴをしながら生き物探し



アウトドアクッキング



カブトムシ見つけた!



キャンプファイヤー



竹の流しそうめん "おいしい!"



竹の水鉄砲で水遊び